

令和7年度 事務事業マネジメントシート		段階： 令和6年度実施事業に係る事務事業評価					5417 明るいまちづくり事業					教育委員会事務局教育総務部	生涯学習課
1 事業概要		中事業番号		1154								所属コード	513000
政策体系		SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X推進	手段	意図（目的）	
大綱（取組）	IV「誰もが地域で輝く未来」	17.17			○						明るいまちづくり推進委員会協議会へ負担金を交付するほか、花いっぱい運動や川柳コンクールなど啓発活動を行っている。	明るいまちづくりのための運動を推進するとともに、地域コミュニティの活性化及び住民主体によるコミュニティ活動の促進を図る。	
施策	1 市民生活に活気があり、地域で楽しく元気に暮らせるまち												

事業開始時周辺環境（背景）	現状周辺環境	今後周辺環境（予測）	住民意向分析
昭和44年当時、高度成長の中で市民生活が豊かになる一方、モラルの欠如からくる青少年の不良化、交通事故の増加などが社会問題となっていたことから、市が「明るいまちづくり運動」を提唱し開始した。	核家族化や地域社会との結びつきの希薄化などにより、地域でのコミュニティの衰退が進行している。地域住民が主体となりコミュニティを推進する様々な事業を実施することで、生涯学習を通じて地域の人材育成や地域づくりに繋げる必要がある。	少子高齢化が進んでいることもあり、地域によっては加入者の減少により活動の縮小や運営が困難となった団体は解散に至る状況も考えられる。新たな人材の参画や育成を支援することに加え、団体同士の相互交流による連携など多面的な事業展開が求められる。	花いっぱいコンクールに代表されるように高齢者も地域づくりのため、「生きがい」として参加し、事業を継続している。また、近年の気候変動による水害や地震の経験から、地域のコミュニティづくりについての関心がより高まってきている。

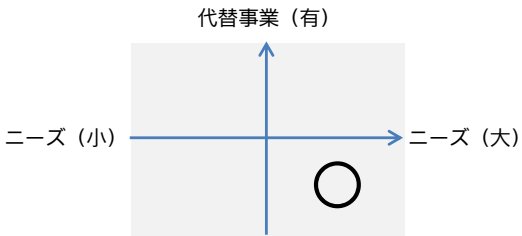
2 事業進捗等（指標等推移）			まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名	指標名	単位	2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度		2028年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	中間指標 2021年度	最終指標 2025年度
対象指標	市民地区	人		325,742 35		316,383 34		319,680 34								
活動指標①	花苗配付数	本	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000		9,000		9,000	9,000		
活動指標②	各地区で行われている事業数R4から	件	300	250	300	264	300	271	300		300		300	300		
活動指標③																
成果指標①	花いっぱいコンクール参加団体	団体	300	249	300	255	300	255	300		300		300	300	300	300
成果指標②	各地区で行われている事業参加者数R4から	人	10,000	16,810	10,000	16,990	17,000	17,275	17,000		17,000		17,000	17,000	10,000	17,000
成果指標③																
単位コスト（総コストから算出）	1地区あたりのコスト → 事業参加者1人あたりのコスト（R5実績から）	千円		296		0.7		0.7	0.7		0.7		0.7	0.7		
単位コスト（所要一般財源から算出）	1地区あたりのコスト → 事業参加者1人あたりのコスト（R5実績から）	千円		296		0.7		0.7	0.7		0.7		0.7	0.7		
事業費		千円		7,560		7,472		7,556	7,713		7,713		7,713	7,713		
人件費		千円		2,797		4,443		4,586	4,443		4,443		4,443	4,443		
歳出計（総事業費）		千円		10,357		11,915		12,142	12,156		12,156		12,156	12,156		
国・県支出金		千円														
市債		千円														
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円														
その他		千円														
一般財源等		千円		10,357		11,915		12,142	12,156		12,156		12,156	12,156		
歳入計		千円		10,357		11,915		12,142	12,156		12,156		12,156	12,156		
	実計区分	評価結果	継続	継続	継続	継続	継続									

活動指標分析結果	成果指標分析結果	総事業費（事業費・人件費）分析結果	
・花苗の配布数は、予定数を配布している。 ・各地区で行われている事業数は、参集型事業などが複数地区で開催され、昨年度より増加している。	・花いっぱいコンクールの参加団体は、地域団体をはじめ幼稚園や公立学校の参画によるが、参加団体数は横ばいである。 ・地区で行われている事業参加者数は、活動指標②各地区で行われている事業数に比例し、増加している。	【事業費】 事業数が増加したことから、事業費が増加した。	【人件費】 事業数が増加したことから、人件費が増加した。

### 3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		4
2 公平性		4
3 効率性		3
4 活動指標（活動達成度）		4
5 成果指標（目的達成度）		4

#### (2) 事業継続性評価



継続	一次評価コメント
当事業は明るいまちづくりのための活動、住民主体によるコミュニティ活動の活性化及び地域の人材育成を図る事業で、さらには地域の緑化活動による花にあふれた良好な景観はウェルビーイングなまちづくりや、植栽に携わる地域高齢者の生きがいづくりにも寄与している。令和6（2024）年度は花いっぱい運動による花苗の配布を予定どおり行い、昨年度を超える参加があった。令和2（2020）年度に新型コロナの影響で参加団体が一気に落ち込んで以来、一定数で毎年増加していたが、令和6年度は同数であった。また、危険箇所看板事業では、危険箇所の調査に合わせて、道路の破損や防犯灯故障箇所の確認することで「ココナビこおりやま」事業にも寄与している。各地区（34地区）の事業総数及び参加者数は、昨年度より増加し生涯学習を通して地域コミュニティの活性化、地域の人材育成が期待できるため継続して実施する。	

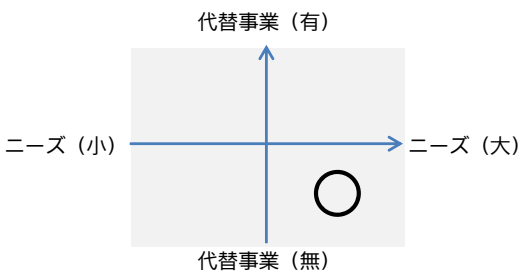
5レス	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）

気候変動対応	D X（デジタル市役所）	部局間協奏
	○	○

### 4 二次評価

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		2
2 公平性		4
3 効率性		2
4 活動指標（活動達成度）		4
5 成果指標（目的達成度）		4

#### (2) 事業継続性評価



改善	二次評価コメント
令和6年度においては、花苗配布やコンクール参加団体数など一定の成果が見られるものの、地域のニーズを十分に把握できていない点が課題となっている。また、単位コストが上昇傾向にあり、事業の効率性について見直しが必要である。 少子高齢化や地域社会の希薄化が進行する中で、事業規模や方法について慎重に検討し、必要性が低下している活動の整理や、重点を置くべき事業への資源配分の見直しを進めるべきである。具体的には、事業参加者数や活動範囲を再評価し、地域住民のニーズを反映した効率的で持続可能な事業運営を目指すなど、社会環境の変化に応じて現状の活動の見直しを実施する必要がある。	

(参考) 令和6年度カイゼンのための行動計画